



牛牧小だより

令和7年12月号

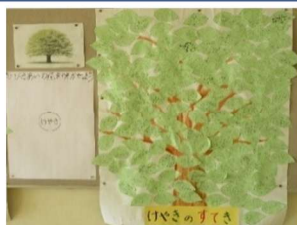
瑞穂市立牛牧小学校

「人権を考える」

1948年（昭和23年）12月10日、国連総会で「世界人権宣言」が採択されたのを記念し1950年（昭和25年）の国連総会で12月10日を人権デーと定めるとともに、すべての加盟国に実施を呼びかけました。日本では、1949年（昭和24年）、法務省と全国人権擁護委員会連合会が12月4日から10日までの一週間を「人権週間」と決めました。12月10日は「世界人権デー」と呼ばれ、日本だけでなく世界の各国で「人権」について考える日となっています。

牛牧小学校では「人権」に関わって、牛牧っ子執行部が中心となり、「全校でひびきあいの花を咲かせよう。」と取組を行っています。この取り組み前には、学級や学年で「なかよし宣言」を確認し、行動や姿を振り返りながら、自分や仲間を大切にするにはどのようにすればよいかを考えました。下記はその内容や学年が取り組んだ表です。

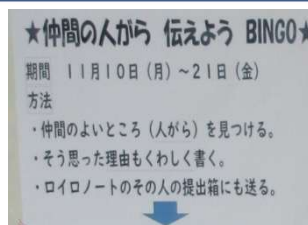
- 1年生→「ありがとう」をいっぱいにしよう。
 - 2年生→「ありがとう」をたくさん伝えよう。仲間を大事に「さん」付けをしよう。
 - 3年生→ばかばか言葉をかけあう学級、学年になろう。
 - 4年生→すてきな行動から互いの人柄を伝え合い、仲間のよさ、自分のよさを知ろう。
 - 5年生→ありがとうの言葉を増やすために感謝される行動と仲間のよさを見つけることを増やそう。
 - 6年生→仲間の話を最後まで聞くこと、仲間を大事にする一歩として挨拶をすること、されてうれしかったことを相手に伝えることを通してお互いを大切にしよう。
- けやき→学校の友達のすてき見つけをしよう。



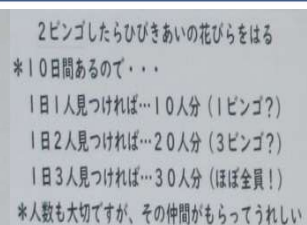
けやきの取組



1年生の取組



4年生の取組



2ビンゴしたらひびきあいの花びらをはる

また、右の写真は、11月中旬から全校で取り組んでいる「ひびきあいの花を咲かせよう」キャンペーンの様子です。児童玄関の大きな木の掲示には美しい花が咲き始めています。温かな声も聞こえてきています。

- 「ありがとう」って言われるとうれしい気持ちになりました。
- 優しい言葉遣いをされると自分も優しい言葉遣いになっていきます。
- 最後まで話を聞いて仲間が反応してくれると安心した気持ちになります。
- これからも当たり前のようにずっと続けていくことが大切だと思いました。

今後一人一人の違いを認めたり、自分や相手のよいところを見つけて誰もが大切な存在であることを再確認したりするなど、人権に関する意識を高めていけることを願っています。

「人権」とは、人間が人間らしく生きるために生まれながらにして持っている、誰からも侵されない基本的な権利のことです。人種や性別などの違いにかかわらず、すべての人が平等に持つ権利です。いじめや虐待、性被害など子どもの人権問題、インターネット上の人権侵害、障害のある人や外国人、部落差別といった多様な人権問題が依然として存在しています。これらの問題の解決には、私たち一人一人が様々な人権問題を他人ごとではなく、自分のこととして捉え、互いの人権を尊重し合うことの大切さについて、認識を深めていきたいと考えます。

ご家庭でも「人権」について振り返り、相手の気持ちを考え、思いやりをもって接することの大切さを考える機会になれば幸いです。

